第2弾

学校が地域と育む未来

～キャリア教育で拓く子どもたちの未来編～



市では、子どもたちが地域とのつながりを通じて学び育つ新しい教育を推進しています。その柱となるのが、学校と企業・地域などの人々をつなぐキャリア教育共創プラットフォーム「escco（エスコ）」です。今回の特集第２弾では、学校での授業や行事などを通して行っている、具体的な取り組みを紹介します。

問合せ　学校教育課☎06（6383）5763へ

第1弾「学校と地域のつながり編」はこちら

キャリア教育とは？

「何になりたい？」だけではありません。

キャリア教育は、単なる職業選びだけでなく、「どう生き、どう社会と関わるか」を考える力を育むものです。市では、子どもたちが「自分に何ができるか」「誰のために何をしたいか」を自ら見つけ出すことを大切にしています。

地域の大人や社会と関わり多様な生き方に触れることで、子どもたちは社会の一員としての自覚を持ち、自立した大人へ成長していきます。

そのため市では、学校・地域・企業などが連携し、地域交流や職場体験などを実施。多様な学びを通して、子どもたちの「未来を切り拓く力」と「ふるさと摂津への愛着」を育みます。

こうした取り組みを推進するため、市では学校と企業・地域などをつなぐキャリア教育共創プラットフォーム「escco（エスコ）」を活用しています。あらかじめ登録された豊富なノウハウや技術力を持つ事業者と学校をマッチング。専門知識や技術に触れる機会を通して、学校だけでは経験できない学びを広げ、将来の選択肢を考えるきっかけとなっています。



摂津市の学校・地域・企業などが連携したキャリア教育の取り組みが評価され、文部科学省・経済産業省共同の「第 14 回キャリア教育推進連携表彰」において、優秀賞を受賞しました。

文部科学省・経済産業省共同
「第 14 回キャリア教育推進連携表彰」
優秀賞
2025 年 12 月

escco 登録数
（ サポーター企業・団体 ）

206 社

キャリア教育に協力する、豊富なノウハウと確かな技術力を備えた企業・団体

escco の詳細や登録事業者の情報はこちら ▶▶▶

子どもたちの「未来の選択肢」を広げる

～知る・やってみる・伝える。そして、自分らしい未来へ～

まずは社会を知る

01 働く人の話を聴く 社会人トーク

さまざまな職業で働く人の話を聴き、仕事のやりがいや生き方を知ります。

市内で活躍する企業の人や専門職の人に学校を訪問してもらい、仕事の内容ややりがい、大切にしている価値観、これまでの経験などを話してもらいます。子どもたちは、普段の生活ではなかなか出会えない大人の生の声を聴き、対話を通して、自分の将来について考えるきっかけを得ています。







参加した子どもたちの声

知らなかった仕事の世界を知ることができて、将来の選択肢が広がりました。



実際にやってみる

02 仕事を体験する 職種体験プログラム

実際の仕事を体験し、仕事の面白さややりがいを感じます。

さまざまな職種の仕事を体験するプログラムです。働く現場を見学したり、実際に作業を体験したりする中で、チームで働くことの大切さ、責任感、創造力の発揮などを学びます。また、地域にあるさまざまな産業に触れることで、地元・摂津の魅力を再発見する機会にもなっています。





参加した子どもたちの声

体験してみて、仕事にはチームワークや工夫が大切だとわかりました。地元にもこんな仕事があることを知れてうれしかったです。



自分の言葉で伝える

03 伝える力を育てる コミュニケーション

相手の話を聴き、自分の考えを伝える力を育て、自信につなげます。

進学や将来の就職に向けて、あいさつや相手の話を聴く姿勢など、コミュニケーションの基本を練習します。正解を答えるだけの試験対策ではなく、地域の企業の人と対話を重ねることで、将来のイメージを広げます。「将来どんな大人になりたいですか?」といった大人からの質問に自分の言葉で答え、伝える力を育みます。自分を表現する経験を重ね、自信を持って次のステップへ進むきっかけを得ています。



参加した子どもたちの声

聴く力や話す力が高まり、自分に自信を持って話せるようになりました。

